

**「いわき市病院事業中期経営計画（2017～2020）（素案）」に対する
市民意見の内容と意見に対する考え方について**

No,	市民意見の内容	意見に対する考え方
1	<p>◎医師を含む医療スタッフの確保と育成について</p> <p>これまで医師確保の主ルートである福島医大や東北大学等以外の大学病院や首都圏の医療機関にも積極的に医師確保のアプローチをしていく努力が必要かと思えます。</p> <p>他医療機関との連携を密にしながら、多くの情報を共有して事業展開して欲しいところです。（これまでの交流大学等を大事にしつつも新たに首都圏の有名大学病院や民間医療機関との人的交流を図り、在籍医師の確保に繋げてほしい）</p> <p>民間の「医師転職コンシェルジュ」などの機関の力を借りた募集活動も一案ではないかと考えます。</p>	<p>医師を含む医療スタッフの確保と育成につきましては、これまでも、最優先課題と捉えており、市長をはじめ、病院事業管理者や病院長が、大学医局等に直接足を運ぶなどして、働きかけを行うとともに、東北大学大学院との連携講座の設置や、寄附講座の開設等により、医師招聘に努めてきたところです。</p> <p>また、将来医師として勤務しようとする医学生への「医師修学資金貸与制度」の活用や、医学部への進学を希望する生徒を対象とした病院長の講話や、当院勤務医師との懇談会を実施するなど、次世代を担う人材の育成にも取り組んでおります。</p> <p>今後におきましては、これらの取組を引き続き実施するとともに、連携講座の領域の拡大や首都圏の大学等も含めた新たな寄附講座の設置等により、一人でも多くの医師を招聘できるよう取り組んで参りたいと考えております。</p> <p>なお、「医師転職コンシェルジュ」などの民間の活用につきましては、貴重な御意見として、参考にさせていただきます。</p> <p>（関連：計画本文 35 ページ、取組項目「医師の確保と定着促進」）</p>

2	<p>◎医師の定着について</p> <p>医師の方々にいわきに住んで働いてみたいと思える街づくりが無ければなりません。家族とともにいわきで生活を共にしていただくためには、医療環境以外に生活環境が整っていることが大事です。とりわけ教育環境、交通の利便性、市民の文化意識など「魅力あるいわき市」の創造がなければなりません。</p>	<p>ご意見にあります「魅力あるいわき市」の創造など、生活環境の整備につきましては、医師の定着に向けても重要なものと認識しております。</p> <p>市におきましては、新・市総合計画をはじめとした様々な計画等に基づきまして、魅力あふれるまちづくりの取組を行っているところであります。</p> <p>当院といたしましても、医師等の定着のため、診療手当の拡充や医師住宅の提供による住環境の向上、院内保育所の充実による子育て世代への支援など、自らが可能な取組に努めているところであります。</p> <p>(関連：計画本文 35 ページ、取組項目「医師の確保と定着促進」)</p>
---	---	--

<p>3</p>	<p>◎高度先進医療施設の導入について 新病院開院に第一に期待することは、高度先進医療施設の導入です。 特にガン治療などに効果的な陽子線・重粒子線治療が地元いわきで可能になれば、現在、遠方の医療機関に出向いて治療している多くの負担から解放され、また新技術・先進治療の経験を期待して若手研修医が集まる2次的メリットも考えられます。 PET 検査機器の導入とその運用を新病院開院と同時に診療を開始して欲しい。 ※一部固有名詞のある部分を省略させていただきました。</p>	<p>新病院の医療機器等については、「高度化、多様化する医療技術に的確に対応ができるよう、可能な限り高性能な診断・治療機器等の導入を進めること」等の基本方針により、整備することとしております。 ご提案にあります陽子線・重粒子線治療施設につきましては、多額の初期投資・維持費用が必要となるほか、従来の放射線治療に携わる医療職に比べ、より専門性の高い知識を持つ医師及び、スタッフが必要となります。 また、先進医療として、医療保険適用による診療との併用は認められているものの、保険適用部分以外の自己負担もまだ高額となることから、多くの患者を確保することも課題となります。 これらのことから、国内における粒子線治療施設はまだ数少なく、大学病院やがんセンターなどの導入にとどまっております、当院における導入計画はございません。 当院の画像診断機器については、がんや脳血管疾患の診断に有効なSPECT装置にCT撮影装置を組み合わせた新たな機器を導入することとしております。 (関連:計画本文 36 ページ、取組項目「医療機器の整備・充実」) (関連:計画本文 33 ページ、(2)地域連携の強化)</p>
----------	---	--

4	<p>◎リハビリセンターの開設</p> <p>いわき市内は温泉が豊富に湧出しており、温泉を活用した整形治療のリハビリセンターの開設はいかがでしょうか。</p>	<p>いわき医療圏における当院の担うべき役割につきましては、福島県が策定した地域医療構想も踏まえ、これまでに引き続き、高度急性期医療、急性期医療を担うこととして、当該計画に位置づけたところであります。ご意見にあります温泉を活用した治療については、回復期等において行われることがふさわしいことから、当院において導入する考えはありません。</p> <p>なお、現在、市健康・福祉プラザ「いわきゆったり館」において、医師の温泉療養指示書のもと、温泉療法を実施しているところであります。</p> <p>(関連：計画本文 21 ページ、(6)地域医療構想について)</p>
5	<p>◎経営管理体制の強化の活性化</p> <p>民間指定管理者の導入。これまでの管理体制人事（病院事業管理者）を見直し、新たな人材の配置を試みる。経営感覚に富む人材の登用。</p> <p>※一部固有名詞のある部分を省略させていただきました。</p>	<p>当院は、平成 19 年度に地方公営企業法の全部適用へ移行し、病院事業管理者のもと、経営改善に向けた様々な取組を行ってきたところであります。</p> <p>この結果、経営状況は改善が図られ、黒字経営が継続されているところであります。</p> <p>現在、職員が一丸となって新病院建設の事業を進めているところでありますことから、当面は、地方公営企業法の全部適用を維持していくこととしております。</p> <p>(関連：計画本文 39 ページ、(5)経営形態の維持の研究)</p>

6	<p>◎市民モニター制度の創設（病院事業全般にわたる外部意見の聴取）</p>	<p>市ではこれまで、まちづくり懇談会や市政モニターの設置等により、市民のみなさまの意見や提案をいただいていたところであり、来年度からは、市政への参加意識の醸成を図るため、新たに「まちづくりアイデア提案事業」を開始することとしております。</p> <p>そのため、病院事業についても、この中で、様々なご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>加えて、従来より実施してきた投書箱「患者さんからの声」でも、様々なご意見をいただき、その都度、改善を図ってきたところであり、この取組を今後も行って参ります。</p>
7	<p>◎病院機能の再編成（公的病院、民間病院等との再編を含む）について</p> <p>地域医療構想や地域医療構想調整会議等を活用して他の医療機関との統合や再編・事業譲渡などの改革案も視野に入れた医療情報の連携体制の構築を目指す。</p>	<p>本市は、平成 22 年度に旧市立常磐病院を統合し 1 市 1 病院 1 施設を実現したところであります。</p> <p>当院といたしましては、地域医療を守るため、高度・救急・先進医療などの役割を果たしながら、地域の医療機関との更なる連携強化に努めて参ります。</p> <p>（関連：計画本文 39 ページ、(5)経営形態の維持の研究）</p>